

利賀っ子だより



R4. 11. 25

○ 日本の文化！



各学年で書初めの練習を始めました。先日は、高学年が練習をしていました。富山県では、毛筆での書初めは半紙ではなく、条幅サイズ用の紙を使うことが多いですが、今年度転入した山村留学生の中には、初めて条幅サイズの用紙に書くという子供もいました。

慣れない太い筆や長い用紙、そして、床に正座して書く活動に「ザ・日本の文化です。」と一言。活動の意味を理解した一言だと思いました。

3 学期の始業式に行う小中合同書初大会には、自分なりに努力した成果を表現してほしいと思います。

○ それぞれの朝の時間

本校の子供たちは、スクールバスを利用している関係で 8 時には全員がそろいます。8 時 15 分の始業までの時間の使い方は、個人に任せられています。行事等が近いときにはその練習や準備にあてている子供たちもたくさんいます。今は、大きな行事の予定もありませんので、各自のしたいことを自由に行っている時間になっています。

中学校棟の図書コーナーに行って読みたい本を探す子供、読みかけの本を静かに読み進める子供、自分の興味のあることを調べている子供、誘い合って一輪車をしている子供等、過ごし方は様々です。

決められた活動をきちんとこなすことができることも大切ですが、自分のしたいことを見つけて行動できることも大切だと子供たちの姿を見て感じました。そのための時間と場所を整えることが私たちの仕事だと思いました。



【中学校棟で本を探す
Mさん】



【集めた車のチラシを見直し
集計する Aさん】



【図書室で読書する Yさん】



【一輪車の練習をする
Yさんと Mさん】



(高田 公美)